

4号機 タービン建屋内での水漏れについて

平成 18 年 5 月 19 日

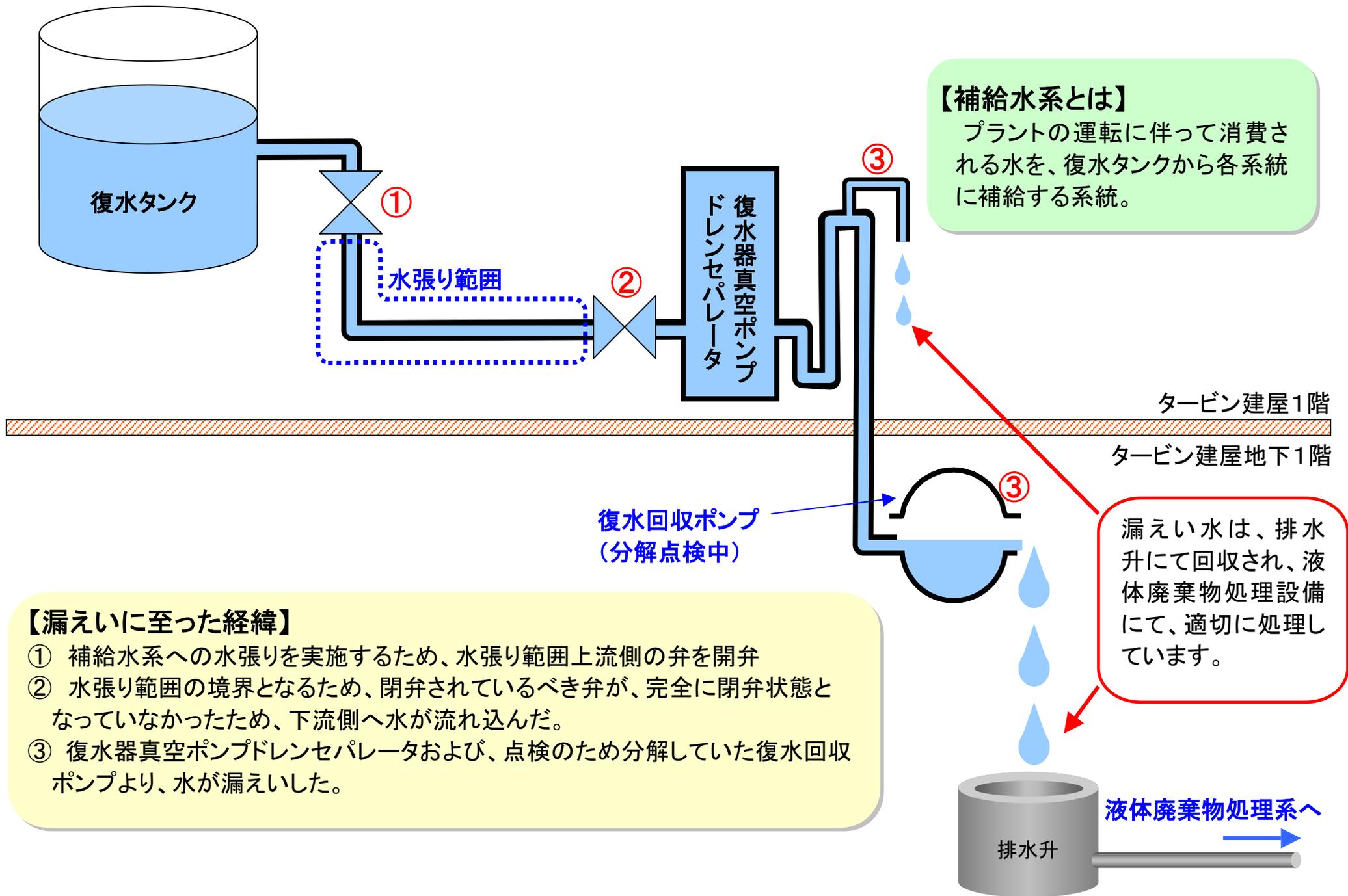
発生号機	4号機(定期検査中) : 沸騰水型、定格電気出力113.7万キロワット
発生日月	平成18年5月19日
発生時の状況	<p>平成18年5月19日12時30分頃、タービン建屋1階復水器真空ポンブドレンセパレータ(※1)および点検中のタービン建屋地下1階復水回収ポンブ(※2)(ともに放射線管理区域内)からの水漏れを当社社員が発見しました。</p> <p>現場の状況から、漏えいは、当該機器に接続されている補給水系の水張りによるものと判明したため、当該機器の上流側にある弁(以下「当該弁」という。)を直ちに閉弁し漏えいは停止しました。</p> <p>漏れた水は予め床に設置されている排水升を通じて液体廃棄物処理系に回収され適切に処理されています。</p> <p>なお、漏れた水の量は、液体廃棄物処理系での回収量から、約5m³と推定され、分析の結果、漏れた水に含まれる放射エネルギーは、約2.8×10⁵Bq(5.6×10⁻²Bq/cm³)であり、国への報告基準である3.7×10⁶Bq以下でした。</p>
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。 また、作業者等への被ばくはありません。
原因	補給水系の点検終了に伴う水張り時に、当該弁を閉弁して水張りすべきところ、確実に閉弁されていることの確認がなされなかったことから、当該弁より下流に水が流れ漏えいしました。
対策	系統の水張り前は、水張り範囲の境界となる弁が確実に閉弁されていることを確認するよう周知徹底するとともに、確実な作業管理に努めてまいります。
お知らせ基準	「表1-2」に該当します。

※1: 復水器真空ポンブドレンセパレータとは、復水器真空ポンブの運転に伴い発生する排水を受けるタンクです。

※2: 復水回収ポンブとは、原子炉へ供給するための給水ポンブ等を使用される補給水を回収し、復水器へ戻すためのポンブです。

以上

補給水系の概要図



【補給水系とは】

プラントの運転に伴って消費される水を、復水タンクから各系統に補給する系統。

【漏えいに至った経緯】

- ① 補給水系への水張りを実施するため、水張り範囲上流側の弁を開弁
- ② 水張り範囲の境界となるため、閉弁されているべき弁が、完全に閉弁状態となっていなかったため、下流側へ水が流れ込んだ。
- ③ 復水器真空ポンプドレンセパレータおよび、点検のため分解していた復水回収ポンプより、水が漏えいした。

漏えい水は、排水升にて回収され、液体廃棄物処理設備にて、適切に処理しています。

液体廃棄物処理系へ

排水升